被害を想定　より実践的な訓練を

9月1日　総合防災訓練を実施

『防災の日』に合わせ、市内各地で防災訓練が行われました。

各地区では、田方消防の協力のもと煙体験訓練や、女性消防隊指導による応急手当訓練、市職員と一緒にHUG（避難所運営ゲーム訓練）などが行われました。

市役所では、『静岡県第4次被害想定』に準拠（市内でマグニチュード8、震度6弱以上）した被害を想定。伊豆長岡庁舎を本部に、救護班や給水班などに分かれ、それぞれの被害を想定し、活動を行いました。

今年は市内全体で、昨年を約千人上回る14，082人が参加しました。

▲みんなで協力してHUG（避難所運営ゲーム）に取り組む小中学生の参加者（原木地区）

◀中学生にポンプの操作方法を教える消防団員（山木地区）

◀韮山福祉・保健センターでは、医師会と社会福祉協議会職員、市役所職員がエアーテントを設置。救急時の対応をシミュレーション。

幽玄な世界で観客を魅了

8月31日　狩野川能が開催

伝統芸能に親しむイベント『狩野川能』が、アクシスかつらぎで開催され、訪れた約300人の観客を幽玄な世界で魅了しました。14年目となる今回は、江戸幕府の勘定奉行や老中を務めた大久保長安ゆかりの金春流による能楽の世界を楽しみました。

当初は、守山八幡宮を会場に開催する予定でしたが、悪天候により、屋内のアクシスかつらぎに変更となりました。

芸者とのお座敷遊び、気軽に楽しむ

9月7日　芸妓祭・あやめ座を開幕

“芸妓のまち伊豆の国”を気軽に体験することができる『伊豆長岡温泉芸妓祭・あやめ座』が、ホテル天坊を皮切りに始まりました。同温泉の芸者衆による華麗な舞やお座敷体験遊びなどが行われ、この日は約50人の来場者を楽しませました。

▶あやめ座は、来年3月まで5つの旅館を会場に14回行われます。チケットや詳しい日程などは伊豆の国市観光協会まで　☎055-948-0304

伊豆の国市に日本一のバレーボールチームあり

8月9日～12日　群雄会が9人制バレーで全国大会連覇

伊豆の国市バレーボール連盟所属の『群雄会（ぐんゆうかい）』が、大阪府で行われた『全日本9人制バレーボールクラブカップ選手権大会』で優勝。昨年に引き続く快挙となり、見事2連覇を果たしました。

全国から予選を勝ち抜いた64チームで競われた同大会。群雄会は、決勝を含めた全6試合のうち3試合をフルセットで勝ち抜き、通算5回目の日本一を勝ち取りました。

同チームは田方地区のメンバー18人で構成されています。日常はそれぞれの仕事をこなし、夜間や休日を利用して練習に励んでいます。

群雄会　優勝までの軌跡
（決勝トーナメント）

1回戦	vs T's1クラブ（愛媛）2-0
2回線	vs 清原クラブ（栃木）2-1
3回戦	vs 香川クラブ（香川）2-1
準決勝	vs ALL BLACKS（愛知）2-0
決勝	vs 別府クラブ（大分）2-1

◀堅実な守備でチームを救った近藤渉さん（南江間）

▶キャプテンとしてチームを鼓舞した平岩純さん（原木）

▲最優秀選手に選ばれた神馬良栄さん（原木）

イカダで故郷の川を満喫

8月18日　狩野川川遊び大会が開催

地域の活性化を目的に、『狩野川川遊び大会』が開催されました。大会名物のイカダ下りでは、大門橋から千歳橋までの約3.5kmを、35チーム140人が参加。参加者は手作りのイカダや、特徴ある衣装に身を包み、故郷の川を水面から満喫しました。

そのほか、メーン会場の千歳橋周辺では、大型イカダの試乗体験やアユつかみ、建設重機の試乗体験、野菜の即売などでにぎわいました。

9つのしゃぎり団体、元気よく演奏

8月24日　伝統芸能フェスティバルを開催

市内各地の子どもしゃぎりを集めた『伝統芸能フェスティバル2013』を、韮山時代劇場日だまり広場を会場に行いました。参加団体は、子どもしゃぎりの9団体ほか、世界の伝統芸能である和太鼓の演奏や、ベトナム獅子舞、フラメンコ、中国雑技がステージで披露されました。

子どもたちは、暑さに負けず日頃の練習の成果を存分に発揮していました。